
Boys be ambitious

大友和幸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Boys be ambitious

【Nコード】

N2399BA

【作者名】

大友和幸

【あらすじ】

過去に起きた、ある出来事がきっかけで少年・桜場 木庭斗は女性に対して偏見を持つようになってしまう。

しかし高校で美少女 雪子と出会い、自分を変える

決心をする……。

1、女

男はなぜ女を守らなきゃいけないんだ？

なぜ女は常に上から目線で俺を見る？

女を守るのが男の義務？

そんなの知ったことか。

キヤーキヤー騒いでたり、急に甘えた声で誘惑してきたりよ。

女なんて「嘘」の塊さ。

俺も常に女を避けてきた。

でも俺は

好きになってしまった。あの子を。

その出来事が俺のすべてを帰ることになる。

4月、青晶学園 入学式。

高校は新しく内装されていて、新築の匂いがした。

なにより希望にみちあふれていた。

「よっ。」

肩に手をかけた来たのは中学のときの同級生、荻 秀馬だった。

秀馬は勉強ができたし、何より女にモテた。

「なんだよ、俺お前がここの高校受けてるなんてしらなかつたよ。」

「そついえば言っただけじゃなかつたね。」

「言ってくれよー。あんまり同じ中学の人いないからさあ・・・心配
だつたんだよ。」

秀馬は誰にでも自然と接して話すことができる。

俺はどこか、秀馬をうらやましがってのかもしれない。

秀馬は俺と同じクラスだった。

1 - C 教室

「えー、私が担任の松島です。1学年を持つのは、2年ぶりです。

とにかく、みんなが無事に卒業できるよう、全力でサポートしていきたいと

思います。どうかよろしくお願いします。」

小太りの中年の先生はなんとなく優しそうな雰囲気があった。

ここで高校に対する1つの不安「教師」が消えた。

先生の話が終わった後、すぐにその日は下校になった。

そこでまた、秀馬が声をかけてきた。

「おい、木庭斗。お前の好み見つけたか？」

「好み？」

「しらばっくれんなよ・・・高校の楽しみなんかほぼそれだろ？」

「ああ・・・女ね」

秀馬は極度の女好きである。毎日そういうことばっかり話している

という

噂まで流れているほどだ。

なのに女に持てる。なんて得した人間なんだろう。

「俺はお前みたいに女好きじゃねえし・・別に興味ないし・・」

そう言いかけたときだった。

秀馬は口をぽかんと開けたまま横を向いていた。

「何あほみたいな顔してんだよ・・」

一瞬、そこに太陽があるように見えた。

きらきら輝くその物体は、徐々に光量を下げっていく。

その物体は人間・・女だった。

清らかで、小柄で、色白で、なにより可愛かった・・。

俺は一瞬で彼女を好きになってしまった。

「おい？どした秀馬？」

おれは口をぽかんと開けたまま横を向いていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2399ba/>

Boys be ambitious

2012年1月6日01時51分発行